

作成日: 2015/5/18
 改定日: 2018/11/26

安全データシート

1. 製品名および会社情報

製品名	品番・記号
書画作品表装スプレー	KJ16-1
製品分類	スプレー
推奨用途及び使用上の制限	書画作品の滲み防止
会社情報	会社名
	住所
	担当部署
	電話番号
	緊急連絡先
	FAX番号
	メールアドレス
	株式会社 呉竹
	〒630-8670 奈良県奈良市南京終町7-576
	技術開発部
	0742-50-2053
	0742-50-2053
	0742-50-2073
	kuretake@kuretake.co.jp

2. 危険有害性

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	分類できない
可燃性／引火性ガス	区分1 (ジメチルエーテル, プロパン, ブタンとして)
可燃性／引火性エアゾール	分類できない
支燃性／酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類できない
引火性液体	区分2 (エタノールとして)
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2
呼吸器感作性/皮膚感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分1B
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分1
特定標的臓器 全身毒性	単回暴露
	反復暴露
	区分3 (気道刺激性, 麻酔作用)
	区分1 (肝臓)
	区分2 (神経)
	吸引性呼吸器有害性
	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない
オゾン層への有害性	区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素



注意喚起語
危険有害性情報

危険

極めて可燃性/引火性の高いガス
引火性の高い液体および蒸気
強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ、または、眠気やめまいのおそれ
長期または反復暴露による臓器(肝臓)の障害
長期または反復暴露による臓器(神経)の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
容器を密閉しておくこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
火災を発生しない工具を使用すること。
使用前に取扱説明書入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

【救急処置】

漏洩ガス火災の場合には：
漏洩が安全に停止されない限り消火しないこと。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
火災の場合：
水、粉末、泡消火、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。
皮膚(または髪)にかかった場合：
直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
眼に入った場合：
水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合：
医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
吸入した場合：
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
取り扱った後、手を洗うこと。

【保管】

涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

特有の危険有害性

特に情報を有していない。

3. 組成、成分情報

単一、混合物:

混合物

成分および含有量

成分名	CAS No.	含有量(wt%)	官報公示整理番号(化審法)
エタノール	64-17-5	48.5	(2)-202
アルキルアセタール化ポリビニルアルコール	63148-65-2	0.9	(6)-708
ブチルベンジルフタレート	85-68-7	0.6	(3)-1312
ジメチルエーテル	115-10-6	10	(2)-360
プロパン	74-98-6	6.0	(2)-3
ブタン	106-97-8, 75-28-5	34	(2)-4

4. 応急処置

吸入した場合	蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気の場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則が止まっている場合には、人工呼吸を行い呼吸困難な場合には、酸素吸入を行う。 嘔吐物は、飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	付着物を素早く拭き取る。 大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
眼に入った場合	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。 必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよくすすぎ安静にして、可能であれば飲んだ物を吐き出させる。 症状に応じて、直ちに医師の診断を受けること。 意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。 嘔吐物は飲み込ませないこと。

5. 火災時の措置

消火剤	炭酸ガス、泡、粉末消火剤
特有の危険有害性	容器が高温で破裂する恐れがあるので消火活動には十分距離をとること。
特有の消火方法	製品がエアゾールであるため、爆発飛散する恐れがあるので防壁または盾等を用いて被災しないようにすること。 可燃性のものを周囲から素早く取り除き、消火剤を使用し消火する。 消火作業は風上から行い場合によっては呼吸保護具を着用する。
消火を行う者の保護	適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	作業時には必ず保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚に触れることを防止する。作業の際は風下で行わない。室内の場合、十分に換気を行う。 多量の場合、人を安全な場所に退避させると共に漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法 と機材	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 付近の着火源となるものは速やかに取り除き、消火用機材を準備する。 作業器具は、火花を発生しない安全な器具を使用する。 少量の場合には、こぼれた場所を速やかに大量の水で洗い流す。 多量の場合には、土砂などで流れを止め安全な場所に導いて密閉式の空容器にできるだけ回収する。回収できなかった場所は、大量の水で洗い流す。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものは速やかに取り除き、消火用機材を準備する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
【技術的対策】	火気厳禁とし、機器は静電気対策を行う。 取扱い機器や設備などは防爆型を用いる。 容器は転倒、転落等を防止する措置を講じ、粗暴な扱いをしない。
【局所排気・全体換気】	作業環境を許容濃度以下に保てるような局所排気・全体排気あるいは封じ込めを行う。(排気装置は、防爆タイプを用いる。)
【注意事項】	発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすいことより、換気および火気などへの注意が必要である。
【安全取り扱い 注意事項】	初めて取り扱う場合、SDSなどにより物質の性状や安全性情報及び法規を理解し、万一の場合の対策をした上で取り扱うこと。 取扱いは換気の良い場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、周りに蒸気を発生させない。 周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策を行い、作業服・安全靴は導電性のものを用いる。 適切な保護具を着用し、眼、皮膚に触れないようにする。
保管	
【技術的対策】	万一漏れた場合、外部へ漏洩を防ぐため、防液堤やバットを準備する。 耐火危険物倉庫に保管する。
【保管条件】	火気厳禁。可燃物を近くに置かない。 酸化性物質等の混触、禁止物質とは共存させない。 容器は直射日光、雨水、水気を避け密閉して換気の良い冷暗所に保管し、着火源、高温物等を近づけない。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

取扱いにあたっては作業者が直接暴露されないよう出来るだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。また照明設備は、防爆型を使用する。

保護具

- 【呼吸器の保護具】
- 【手の保護具】
- 【眼の保護具】
- 【皮膚及び身体
の保護具】

必要に応じて防毒マスク、場合により送気マスク、空気呼吸器
必要に応じて耐溶剤性保護手袋
必要に応じて保護眼鏡
必要に応じて浸透しにくい作業衣・保護前掛け、保護長靴

衛生対策

この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
洗眼、手洗い設備を設置する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 物理的状态

霧状エアゾール (原液: 無色透明～微黄色透明液体)

臭い

アルコール臭

pH

データなし

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

燃焼性又は爆発範囲

データなし

ジメチルエーテル (上限: 27.0vol%, 下限: 3.4vol%)
プロパン (上限: 9.5vol%, 下限: 2.1vol%)
ブタン (上限: 8.4vol%, 下限: 1.8vol%)

蒸気圧

データなし

蒸気密度 (空気=1)

データなし

比重 (密度)

0.80±0.02 (20°C)

溶解度

データなし

n-オクタノール/水分配係数

データなし

自然発火温度

データなし

分解温度

データなし

臭いのしきい (閾) 値

データなし

蒸発速度 (酢酸ブチル=1)

データなし

燃焼性 (固体、ガス)

データなし

粘度

データなし

動粘性率

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の取扱い条件においては、化学的に安定。

危険有害反応可能性

強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

避けるべき条件

高温への暴露、加熱、混触危険物質との接触。

混触危険物質

強酸化剤、強塩基、酸化性物質等

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、ブチルアルデヒド等

11. 有害性情報

組成物質の有害性及びばく露濃度基準

物質名	IARC	その他の有害性	管理濃度	許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
				日本産衛学会	ACGIH (TLV)
エタノール	データなし	LD50(経口 ラット) = 13700mg/kg	データなし	情報を有していない	STEL 1000ppm
アルキルアセタール化ポリビニルアルコール	データなし	LD50(経口 ラット) > 10g/kg	データなし	情報を有していない	情報を有していない
ブチルベンジルフタレート	データなし	LD50(経口 ラット) = 2330mg/kg	データなし	情報を有していない	情報を有していない
ジメチルエーテル	データなし	情報を有していない	データなし	情報を有していない	情報を有していない
プロパン	データなし	情報を有していない	データなし	情報を有していない	TWA 1000ppm
ブタン	データなし	情報を有していない	データなし	情報を有していない	TWA 800ppm

急性毒性

データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性・刺激性

データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

区分2に分類される以下の成分が10%以上含まれているため、GHS:区分2に該当する。

エタノール (48.5%), ブチルベンジルフタレート (0.6%)

呼吸器感作性

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

区分1Bに分類される以下の成分が0.1%以上含まれているため、GHS:区分1Bに該当する。

エタノール (48.5%)

発がん性

データ不足のため分類できない。

生殖毒性	区分1に分類される以下の成分が0.3%以上含まれているため、GHS:区分1に該当する。 エタノール (48.5%), ブチルベンジルフタレート (0.6%)
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分3に分類される以下の成分が20%以上含まれているため、GHS:区分3に該当する。 エタノール (48.5%), ブチルベンジルフタレート (0.6%), ジメチルエーテル (10%), プロパン (6.0%), ブタン (34%)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(肝臓)および区分2(神経)に分類される以下の成分が10%以上含まれているため、GHS:区分1(肝臓)および区分2(神経)に該当する。 エタノール (48.5%)
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	データ不足のため分類できない。
水生環境慢性有害性	データ不足のため分類できない。
水生毒性(魚毒性)	エタノール: LC50(24hr, マスの稚魚) > 11.2g/L ブチルベンジルフタレート: LC50(96hr, 魚類(シャイナーパーチ)) = 510 μg/L
残留性/分解性	エタノール: COD 1.99~2.11mg/L
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の付属書に列記された成分を含有しないため、GHS: 区分外に該当する。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの認可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。
汚染容器及び包装	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	国連番号	1950
国内規制	道路法	法第46条、施行令第19条の13 (車両の通行制限)
	船舶安全法	法第28条、危険物船舶運送及び貯蔵規則第2条(用語)等 船舶による危険物の運送基準等を定める告示別表2 (高压ガス) 危険物、引火性液体
	港則法	法第21条、施行規則第12条(危険物の種類)、危険物告示 (高压ガス、引火性液体)
	消防法	危険物第4類引火性液体アルコール類 (エタノール)
特別の安全対策		容器は転倒・転落・衝撃等を避ける。 容器は40°C以上にならないように温度上昇防止を図る。

15. 適用法令

高压ガス保安法	可燃性エアゾール
消防法	第4類引火性液体アルコール類、水溶性 (エタノール) 第4類第4石油類、危険等級Ⅲ (ブチルベンジルフタレート) 第1条の12別表第4に掲げる指定可燃物 (アルキルアセタール化ポリビニルアルコール)
海洋汚染防止法	施行令別表1 (乙類物質) (エタノール)
労働安全衛生法	施行令別表1 危険物 4 引火性の物 (エタノール) 危険物・可燃性のガス (プロパン、ブタン、ジメチルエーテル)
PRTR法	法第57条の2「名称等を通知すべき危険物及び有害物」(ブチルベンジルフタレート) 法第2条第2項「第1種指定化学物質」(ブチルベンジルフタレート)

16. その他の情報

記載内容に関する問い合わせ先	株式会社 呉竹
参考文献	各成分のSDS JIS Z 7252 (2009) JIS Z 7253 (2012)

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。